

会 議 の 要 旨

会議の名称	第3回川越市介護保険事業計画等推進委員会
開催日時	平成25年5月14日(火) 午後3時 開会 ・ 午後5時 閉会
開催場所	総合保健センター研修室(3階)
議長氏名	委員長 齊藤 正身
出席委員氏名	桐野委員、高梨委員、若海委員、川口委員 小野寺委員、宮山委員、矢部委員、橋本委員、長峰委員、荻野委員 矢澤委員、芝波田委員、米原委員、原委員、 長田委員、小林委員、矢代委員、横田委員
欠席委員氏名	三浦委員、山木委員、向坂委員
事務局職員氏名	栗原福祉部長 高齢者いきがい課：岡村参事、宮下副課長、佐藤主幹、関根主任、富岡主任、松永主事 健康づくり支援課：大野参事、佐藤主任 介護保険課：佐藤副部長、久津間副課長、佐藤主幹、藪野主査、太田主査 金田主任、正田主事、渋谷主事補
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 4 議事 5 その他 6 事務連絡 7 閉会
配布資料	1 次第 2 第1回川越市介護保険事業計画等推進委員会の要旨…(資料1) 3 第2回川越市介護保険事業計画等推進委員会の要旨…(資料2) 4 第5期介護保険事業(支援)計画の実施と第6期計画の策定準備について…(資料3-1) 5 これまでの社会保障制度改革国民会議における議論の整理(医療・介護分野)(案)…(資料3-2) 6 医療・介護制度関係参考資料…(資料3-3) 7 高齢者等実態調査について…(資料3-4) 8 在宅高齢者配食サービス事業の見直しについて …(資料4-1、当日配布) 9 配食サービス事業調査(中核市42市)…(資料4-2、当日配布) 10 川越市事業評価外部会議(外部評価)外部評価人からの意見 …(資料4-3、当日配布) 11 日常生活圏域の見直しについて…(参考資料、当日配布) 12 「オレンジカフェ」及び各種パンフレット…(当日配布)

## 議 事 の 経 過

### 1 開会

### 2 あいさつ

委員長による開会のあいさつ。

限られた回数の委員会なので、スキルアップを図る機会を設けるのも有効だと思います。御賛同いただければそういった場を設けたいと思います。

### 3 報告事項

#### (1) 第1回川越市介護保険事業計画等推進委員会について

事務局より、資料1を用いて、第1回介護保険事業計画等推進委員会の開催内容について報告。

#### (2) 第2回川越市介護保険事業計画等推進委員会について

事務局より、資料2を用いて、第2回介護保険事業計画等推進委員会（施設見学）の開催内容について報告。

### 4 議事

#### (1) 第6期介護保険事業計画の策定準備について（高齢者等実態調査について）

事務局より、資料3-1～3-4を用いて説明。

- ・ **高齢者等実態調査を行うことについて了承してよいか。**

(一同承認)

- ・ **国の資料だけでなく、今後の計画策定の議論のために、川越のサービスの状況を今後報告していき、情報の共有をする必要があると思う。**
- ・ **(委員長) 明日の介護保険部会で、介護保険事業計画等について議論が行われるので、その資料で、必要な部分を委員の皆様にお配りいただけるといいかと思う。**
- ・ **地域包括ケアシステムは、「住まい」が中心ととらえてよいか。**

まず住まいがあり、その中で医療、介護、介護予防、生活支援があるという形で進んでいくと思います。

#### (2) 在宅高齢者配食サービス事業の見直しについて

事務局より資料4-1～4-3を用いて説明。

- ・ **対象者となる基準が現在より緩やかだった時代の利用者で、現在も利用している方がいる。また、男性で、自分で調理をできない方が、歩けるからという理由で、自費で配食を取っている。対象者の見直しは行っているのか。**
- ・ **また、所得制限等は考えているのか。**

- ・市の配食も、現在自費でとっているものも、同じ業者であって、どちらも声掛け等を行っているが、市の配食の方が高い金額となっている場合がある。その点についてはどう考えているか。

条件が緩やかだった時代の利用者で、現在も利用している方もいます。事後のフォローとして、サービスが不要になった方については、本来ならサービスの停止をし、自分で食事を用意する生活に移行していくことが本来の趣旨ですが、そこまで手が回っていないのが現状です。

市のサービスの金額については、一年前に 100 円下げましたが、いまだ高いというのが実情です。大手の業者等では 500 円前後の金額で行っているので、この事業自体の在り方についても根本的な見直しが必要ではないかと感じています。しかし、現在サービスを利用している方もおり、一度に変えることも難しいと思いますので、対象とする条件や、単価設定について御意見を伺えればと思います。

所得制限については、サービスの趣旨として所得に関係ない事業としてスタートしていますので、今のところは考えておりません。

- ・資料 4-1 の 2 ページの利用者及び居宅介護支援事業者を対象に行ったアンケートの意見について、利用者側の意見が無く、変える事ありきの内容になっていると思う。

こちらに列挙されている者については、居宅介護支援事業者に対して行ったアンケートの意見となります。利用者に行ったアンケートの内容については、お弁当の中身や、契約通りの時間に届けられているかといった内容のアンケートとなっており、料金設定等については、利用者に対して調査しておりません。

- ・ただ費用を安くすればいいという話ではないし、また、一度始めたサービスをやめるということは、大変難しいことなので、代替案が必要なのではないか。今日結論を出すということは難しいのではないか。

- ・配食のサービスと安否確認を分けるというやり方もあると思う。

高齢者の配食サービス事業は平成 12 年から始まりました。介護保険の特別会計で行っている事業として、対象者や費用の問題は、事務局より素案を提示させていただき、改めて御意見を伺いたいと思います。

自己負担については金額の問題もありますが、資料 3 ページの自己負担率をみると、川越市は他市より低くなっております。また、平成 24 年度の包括外部監査での意見として指摘もされております。

地域支援事業として、介護保険の事業としてやっていくという前提で、その在り方を検討したいと思います。配食サービスだけでは、介護保険の事業として行うのは難しいと思います。

見直しをすることによって出てくる財源を、どこに配分するのかという方向性を出し、全体の中で事業の位置づけを見直しの案を提示できればと思います。

- ・いつまでに見直さなければならないのか。

できれば来年度には新しい体制でできればと思います。予算編成の関係上 10 月いっぱいまでには方向性を出せれば、新年度予算には反映できると思います。

- ・できれば次回委員会に提示していただければと思う。

## 5 その他

### (1) オレンジカフェについて等

委員長より、「オレンジカフェ」の取り組みについての紹介。

- ・川越の4つの地域包括支援センターで、通所介護の事業所や、公民館を使って行ってきたが、とても効果的で、利用者にも良い時間を過ごしていただいていると思う。川越市でも予算をつけていただいた。

こういった活動を進めていくことも奨励していくといいと思う。広報等での周知もお願いしたい。

オレンジカフェについては、広報の中で、認知症についてのコラムを設けていますので、その中で、市の委託の事業でもありますので紹介させていただき、開催日時等についても、広報に掲載していきたいと思います。

- ・市内の事業所を、圏域ごとに、サービス種別の分布をマップとして作っていただき、委員へ配布していただきたい。

事務局としても、第6期の計画策定に向けて、現状の認識としても、将来的なサービスの整備計画としても、大変重要だと思うので、どのようなマップにするか打ち合わせをしながら作成していき、委員の皆様提供させていただきたいと思います。

### (2) 日常生活圏域の見直しについて

事務局より参考資料を用いて説明。

第5期計画において、増設を前提として整備を図るとしている地域包括支援センターの担当エリアの基礎となる日常生活圏域について、今後見直しを行っていきたいと考えております。

これについても、委員会の方で、御意見をいただくような形で資料を提示させていただきたいと考えております。

### (3) その他

- ・介護・医療分野は、政府も成長分野として位置付けており、また、需要も増えていく分野で、事業所も増えてきている。求人も多く入職者も多いが、離職率が大変高い。そのため勤務する年数が短くなり、知識・技術の蓄積が難しいので、今後の計画策定の中で、人材育成・確保も検討課題としていただきたい。

## 8 事務連絡

- ・次回委員会は8月頃を予定。詳細は、決定次第通知いたします。

## 9 閉会